

重電機器受注生産品の受注実績 2021年度 第I四半期(4~6月)

JEMAでは、わが国の重電産業に関する基礎資料のうち、重電機器の受注動向及び需要者(業種)別の市場動向等を通して重電産業の動向を把握して頂くために、JEMA 会員独自で実施している重電機器の自主統計を一般に公表しております。

ここに、重電機器受注生産品の「2021年度 第I四半期(4~6月)」の受注実績を公表致します。

2021年度 第I四半期(4~6月)の概要

第I四半期の受注額は3,775億円(前年同期比111.9%)と5四半期ぶりの前年同期比増加となった。
(※以下、前年同期比は「同」と略記)

内需は、製造業の需要減からの回復と、非製造業うち大口需要先である電力業からの受注が好調なため、増加に転じた。一方、外需は、需要減少が継続している。

【需要者別動向】

◆内需は3,068億円(同116.8%)と、5四半期ぶりの増加となった。

- ・製造業は679億円(同110.8%)と、2四半期連続の増加となった。主要需要先で見ると、繊維・化学・窯業・土石、鉄鋼業は減少となったが、はん用・生産用・業務用機械、電気・情報通信、自動車は増加となった。
- ・非製造業は1,829億円(同120.5%)と、5四半期ぶりの増加となった。運輸業・郵便業・通信業は5四半期連続の減少となったものの、大口需要先である電力業は前期の減少から転じて大幅に増加となった。
- ・官公需は536億円(同115.3%)と、10四半期連続の増加となった。大口需要先である地方公務は7四半期連続の増加となった。

◆外需は708億円(同94.8%)と、6四半期連続の減少となった。

【製品別動向】

- ・発電機(内需増、外需減)、電力変換装置(内需、外需共に増)、遮断器(内需増、外需減)は増加となった。
- ・交流電動機(内需、外需共に減)、変圧器(内需、外需共に減)、配電装置(内需増、外需減)、制御装置(内需、外需共に減)は減少となった。

重電機器受注生産品受注実績統計の凡例

■対象(重電機器受注生産品)

ユーザより注文を受け、個別の仕様で製造する製品群である受注生産品を調査対象としております。

- ・需要者(業種)は主に電力業や鉄鋼業、はん用・生産用・業務用機械、電気・情報通信機械、自動車などの主要製造業及び官公需等です。
- ・重電機器の主要製品は、回転機(発電機、交流電動機)、静止・開閉器(電力変換装置、変圧器、遮断器、配電装置、制御装置)等です。

■公表の内容

重電機器受注生産品全体の受注実績額、内需の需要者(業種)別、外需などを把握することで、国内外の受注動向および市場動向を把握することができます。

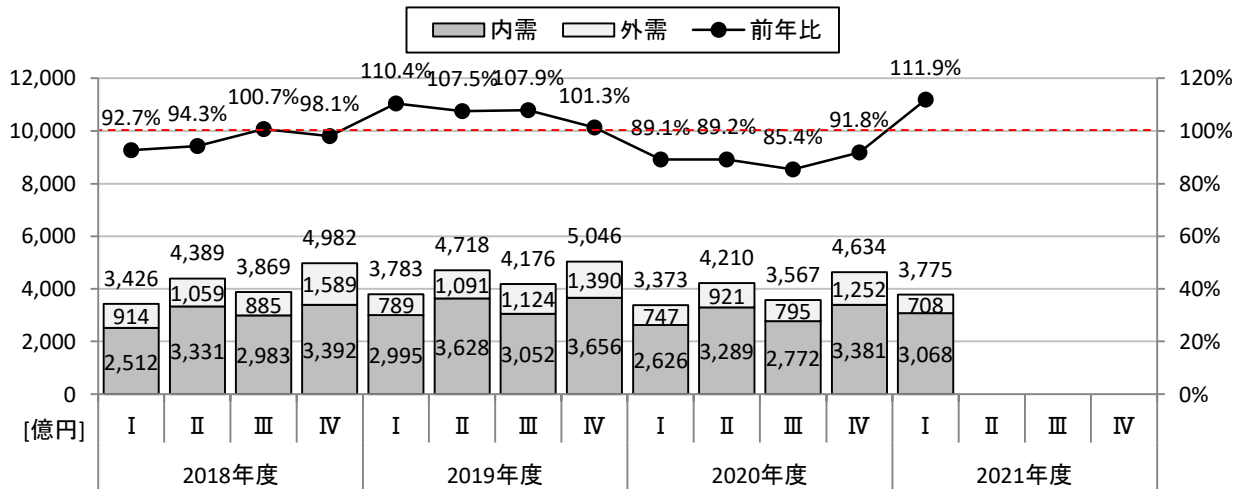
また、重電機器受注生産品の受注実績は、需要者(業種)別の設備投資の状況等を把握できますので、景気動向の先行指標として活用ができます。

■公表の種類

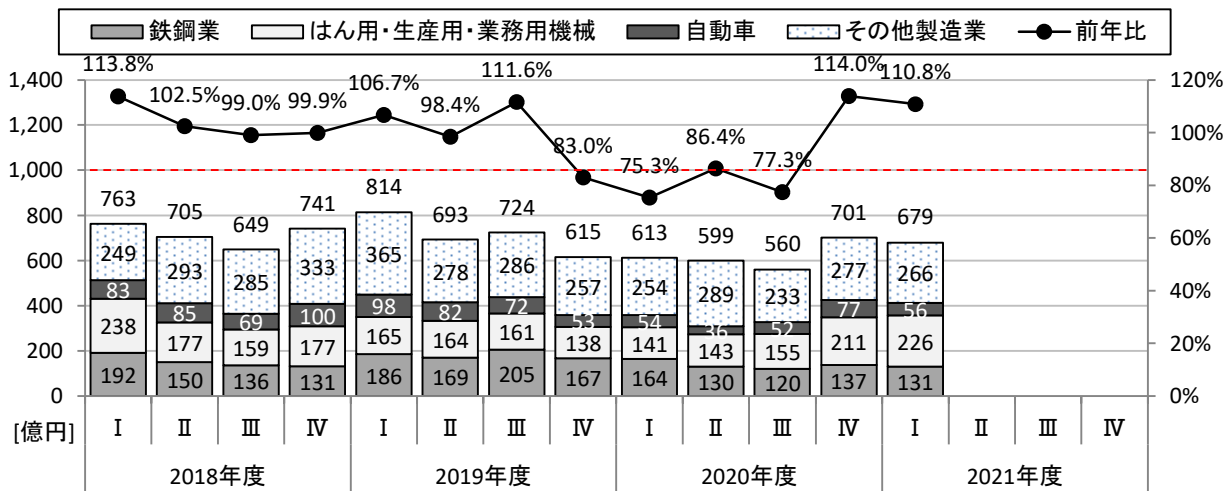
JEMA 会員独自で実施している自主統計を四半期毎に公表致します。

四半期実績の推移

重電機器受注生産品の受注実績(内需+外需)



内需の内訳(製造業)



内需の内訳(非製造業)

